



かがやく瞳

運動会！ ありがとうございます！



運動会にたくさんの皆様にご来場いただき、本当にありがとうございました。当日は、朝から雨のぱらつく時間もありましたが競技の進行に影響することはなく、無事に全日程を終了することができました。朝早くから、PTA保体部の皆様を中心に、テント設営等の準備にご協力いただきました。また、競技中も役員としてお力添えをいただきました。保護者の皆様のご協力に支えられ、子どもたちの一生懸命な姿を見ていただくことができました。学校報の前号で、「一生懸命から生まれるたくさんの笑顔が見られることを楽しみに、みんなで運動会を作っていきましょう。」と書きましたが、まさに

その姿を目にすることができた1日になりました。

保護者の皆様のご協力に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

6年生を中心に、本当によくがんばりました

今回の運動会に向けて、4月から応援練習を始めていることはこれまでの学年報でもお知らせしておりますが、本番の応援合戦には「目を見張る」ものがありました。それぞれの組の応援の仕上がりが素晴らしかったからです。予行の時もよかったのですが、本番は更によくなっていました。審査をする人間としては、子どもたちの応援合戦に感動すると共に、本当に「悩ましい」時間でした。それでも、PTA会長さん・前会長さん・保体部長さん・学校評議員さんと一緒に審査することになっていましたので、何とか点数を付けることができましたが、一人だけだったら、きっと順位を決めることができなかつたと思います。「甲乙付けがたい」とは、まさにこのことだと思いながらの審査でした。このような状況になったのは、6年生を中心に全校のみんなが各色毎に心を合わせ応援した結果だと思えます。本番を迎えるまで、いろいろなことがあったと思いますが、本当によく頑張りました。そして、応援だけでなく、各種の競技に、係としての仕事にと、何にでも一生懸命取り組む姿に感心した1日でした。



昨日、飛騨市からお客様がいらっしゃいました

下は、今朝の秋田魁新報の記事ですので、もうご覧になった方もいらっしゃるかと思います。この記事にもありますが、今年の2月に、卒業した6年生がオンラインで交流しており、今回は、市長さんをはじめ6名の方々が来校されました。

古四王神社を建てた「甚兵衛」作とされる鯉の彫刻の残る五社神社の宮司様から、子どもたちにも食べてもらってくださいと、地元の「味噌煎餅」をいただきました。その味噌の原料の大豆が秋田県産大豆「リュウホウ」であることも縁を感じるとのお話でした。

今日、その煎餅を持ち帰りましたので、お子さんと一緒にご賞味ください。(その際は食物アレルギーにご注意ください。)

き が け (第3種郵便物認可)



岐阜県飛騨市の都竹淳也市長が22日、室町時代末期に飛騨の名工「甚兵衛」が造ったとされる大仙市大曲の国重要文化財「古四王神社」を訪れた。神社について学んでいる地元の東大曲小学校(黒川修二校長、87人)も訪問。都竹市長は「飛騨の甚兵衛をきっかけに大仙市と交流していきたい」と述べた。

「古四王神社」手がけた名工が縁 飛騨市長、大仙を訪問

古四王神社は1570年、
一帯を治めていた領主戸沢氏
の家臣だった富樫氏が建立。
1930年に解体修理した際
「古川村、大工甚兵衛」と書
かれた紙が見つかっている。
都竹市長は、氏子から神社
の歴史や構造について説明を
受けた。視察に同行した大仙
市の老松博行市長は「甚兵衛
を縁に、徐々に交流を広げて
いきたい」と語った。
甚兵衛の古里・飛騨市古川



町にある古川小学校と東大曲
小が今年2月、オンラインで
交流したことが縁で、都竹市
長の古川市訪問が決まった。
古川小の下出尚弘校長、甚兵
衛作とされるコイの彫刻が残
る五社神社(飛騨市)の上杉
千文宮司ら5人が同行した。
両自治体は、甚兵衛を巡る
問い合わせなどで1930年
から文書のやりとりがあった
が、首長の訪問は初めて。
東大曲小では、黒川校長が
甚兵衛と古四王神社について
の学習について説明。児童が
「歴史も長い古四王の宮の姿
のゆかしさよ」と、歌詞に古
四王神社が登場する校歌を披
露した。

都竹市長は児童に「大曲に
来たのは初めて。飛騨のこと
を調べてくれてうれしく思
う。これからも古四王神社を
大切にしてほしい」と話した。(佐藤拓)

東大曲小で児童にあいさつする都竹市長(中央)

都竹市長らが訪れた古四王神社